

免疫ふしぎ未来 2011
「研究者と話そう！ 見て、聞いて、触って、学ぼう、免疫学！」
開催のご案内
2011年8月21日（日）日本科学未来館にて開催

2011年6月16日
特定非営利活動法人 日本免疫学会

特定非営利活動法人 日本免疫学会（理事長・菅村和夫）では、免疫学のおもしろさ、不思議さ、さらには免疫研究の最前線を知って頂くために、2007年より市民向けのイベント「免疫ふしぎ未来」を実施しております。今年は「研究者と話そう！見て、聞いて、触って、学ぼう、免疫学！」というキャッチフレーズで、夏休みの8月21日（日）に日本科学未来館（東京都江東区）にて「免疫ふしぎ未来 2011」（入場無料）を開催することになりましたので、お知らせいたします。

総合的・基本的な科学技術政策の企画立案及び総合調整を行うことを目的とした「重要政策に関する会議」の1つである総合科学技術会議におきましては、2010年6月19日の『「国民との科学・技術対話」の推進について』と題する基本方針において、研究者が国民との科学・技術対話（科学コミュニケーション）に積極的に取り組むよう求めています。当学会といたしましても、積極的に国民の皆様との科学コミュニケーションをするべく、「免疫ふしぎ未来」を重要課題として取り組んでおります。

「免疫ふしぎ未来」は、第14回国際免疫学会議（神戸市）が開催された2010年を除き、2007年から2009年まで毎年実施してまいりました。4回目となる「免疫ふしぎ未来 2011」では、恒例のショートトーク、免疫入門エリア、観察・体験エリア、パネル展示「免疫研究の最前線」に加えて、「日本の免疫学の歴史と研究活動」のパネルや「紙芝居エリア」、「夏休み自由研究エリア」を設置します。アレルギー反応誘導の制御における腸内細菌の重要性や、放射線の人体や免疫反応への影響に関するお話なども加えました。特に、東日本大震災による原子力事故による放射線の影響に関しましては、専門の先生をお迎えし、「放射線の子供への影響」について最前線のお話も予定しております。

本イベントで最前線に携わる免疫研究者と直接話しをする「対話」（科学コミュニケーション）を通じて、免疫学を少しでも身近なものとして感じて頂ければ幸いです。

特定非営利活動法人 日本免疫学会
理事長 菅村和夫

